

あいあいあい



2016年5月21日 田んぼへ行こう (大郷無農薬交流田)

『農』あるくらしを拡げましょう

理事長 小野瀬裕義

作家の高村薫さんが新聞に「農業はとても科学的、知的な営み」「農ある暮らしは新しい技術と知識が必要な世界への挑戦」で農家はすごいと寄稿していました。

1940年代まで日本人の8割は農村部に暮らしていました。それが1990年代には日本の人口の約8割が都市居住者になりました。わずか50年での大転換です。昭和の始めに民俗学者の柳田国男は「都市は農村を母胎にして農村の豊かさに支えられてい

る」と主張していましたが、今では大都市が地方の都市や農村の豊かさを飲み尽くし地方はお荷物にされています。しかし、人は自然が作り出す食べ物なしに生きていけません。農村や地方の豊かさなしには都市は生きていけないことも明らかです。地方の豊かさは第一次産業の豊かさに支えられています。大震災は、東北の第一次産業に大きな打撃を与え、復旧・復興は未だ途上です。

私達は2020年ビジョンで「食と農」を第一の課題として設定しています。私たちの食卓を支える日本農業の大切さを「分かつて食べる」組合員に育ちあうことがテーマです。その為には組合員が農業の現場を知り生産者と交流し、適正な価格で購入することで農水産業が再生産可能な産業に回復し後継者も育つことが必要です。

今年度の方針として、産地交流から援農、自分達で田畑を耕して体験する実践農場等の様々な活動を計画しています。また、生産者の取り組みが進んでいる「優ぶらんど」、ネオニコチノイド系農薬や土壌消毒剤、除草剤等を使用しない農業に私達の支援が必要です。

高村薫さんの寄稿はこのように結ばれていました。「農家が元気になり、もう少し地産地消がうまく出来るようになればいいと思います」

2016年度 活動予定

あいコープの組合員活動はどれも楽しさいっぱい。
たくさんさんのイベントで、皆さんをお待ちしています！

生産者交流

私は「農」とは、農業従事者だけが考える問題でなく、地球に生きるものすべてが考える共通の課題であると考えております。2020年ビジョンで「食と農」を第1のテーマとして掲げております。私たちの食卓を支える農業の大切さを「分かって食べる」組合員に育ちあうことを組合員活動として展開していきます。

県内3産地に地区委員会と交流し、組合員に発信することで、農業の現場を知り生産者と交流し、適正な価格で購入することにつながることを考えております。



担当理事
木口裕美

あい農委員会

大郷の交流田での「田んぼに行こう」は5月の田植え、6月の草取り、7月には田んぼの生きもの調べ、9月に稲刈りと4回の企画に参加者を募集します。七郷のあいコープ体験圃場では年間登録で「畑に行こう」を7回行います。

またあい農委員会は体験圃場で週一回の農作業を行っています。お気軽に参加してみてください。



パブリックイベント

「あいコープはこうありたい」と示した2020年ビジョンには、組合員と職員が共に組合員拡大に取り組み「仲間」を増やすことを掲げました。

今年は組合員と職員が力を合わせた新しいチャレンジをします。他団体や商店街が主催のマーケットやお祭りなどのイベントにブース出展し、あいコープの自慢の商品やあいコープの良さを組合員サポーターと職員とで多くの人に広めて行く活動です。地区や専門委員会のように定期的な活動は難しいけど、自分のスケジュールに合うものがあれば活動できる、新しい組合員活動の形としてサポーター登録を再開して行きます。

「たのしい！おもしろい！大好き！あいコープ」をたくさんの人に一緒に広めましょう！



担当理事
星恵



Waa!わぁ祭り

今年も第28回Waa!わぁ祭りを10月30日(日曜)に卸商センターサンフェスタで開催します。まんま通信や商品を通してつながっている生産者と、直接顔を合わせ交流できるまたとない機会です。そして今年「家族で楽しめるお祭り」にしたいと思っております。お祭り実行委員、当日スタッフとして参加して下さる方、楽しいアイデアも大募集中です。今年もにぎやかで楽しいお祭りになるように、一緒に盛り上げていきましょう！



担当理事
成澤菜穂子



あいぶらんど運動推進委員会

あいぶらんど商品が皆さんの食卓になくなくてはならない愛される存在になるような活動をしたいと思っております。あいぶらんど生産者さんに商品のこだわりや生産現場のお話を伺いながら一緒に調理して食べる『みんなであいごはん』今年もスタートしました！あいぶらんど通信縮刷版を活用しながら組合員、生産者、職員みんなに、『あいぶらんど』商品を知って大好きになってもらえるよう学習会を企画します。産地・工場を訪問して生産者さんへの直撃取材でニュースを発信していきたいと思っております。



担当理事
太田代一世

PB食パン開発プロジェクト

あいコープでは2013年の「放牧パスちやん牛乳」開発以降、納豆、豆腐、ヨーグルトといったPB(プライベートブランド)商品の開発に力を注いできました。今年5月に新PB商品「もぐもぐミニウインナー」の供給を開始しました。そして、6月からは「あいコープ食パンプロジェクト」が開始します！各地区の組合員の代表と商品部、パン工房わ・は・わが共同で、今までよりもさらに美味しく、多くの組合員に愛されるパンの開発に取り組みます。

供給開始は11月頃を予定していますのでお楽しみに！



担当職員
吉武悠里

ジョイケア

よりよいたすけあい活動のためにケアメイトさんの日頃の活動に結びついた研修会や情報交換の場を設けたいと思っております。ジョイケアでは昨年に引き続きシニア世代の興味関心が高いテーマでの学習会を開催します。

脱原発・エネシフ委員会

2016年度も脱原発エネルギーシフト委員会では、キャラバンや地区委員会とのコラボ企画などを通して、省エネ調理や自然エネルギーへのシフトの提案を続けます。毎年好評の節電アクションは、初めての方にも興味を持ち参加していただけるように、更に工夫して開催したいと考えています。

また、組合員対象のエネルギーに関するニュースを発行し、勉強会や映画上映会を開催します。



脱原発エネシフ委員
鈴木真奈美

石けん環境委員会

どうして石けんなのか、また上手な石けんの使い方を教えていただくために、6月には「石けんおはなしカフェ」、10月には「今日からあなたも石けんの達人、ソーソー油脂編」を予定しています。

2年前に初めて開催した「香料の健康被害」の学習会以来、香料問題についての要望を多くいただき、7月12日に環境ジャーナリストの天笠啓介さんをお招きして環境学習会「除菌剤・消臭剤・香料で健康被害?」を開催することにしました。「水環境」を学ぶために8月には東京農工大学の高田秀重さんをお招きしての学習会、そして引き続き布ナプや布おむつの普及活動もしていきます。



担当理事
佐藤美恵

遺伝子組み換え(GM)問題

4月に仙台と石巻でGMナタネ調査を行い、今年の簡易検査の結果は全て陰性でした。去年のGMナタネ発見ポイントに菜の花がなくなっていて驚きましたが、もしかしたら行政に働きかけた効果が出てきているのかもしれない。情報を共有し声を上げることの大事さを再認識しました。遺伝子組み換え問題に関する活動は地道なものです。食と農業、ひいては健康と命に直結する重大な使命を担っています。『知り、学び、伝える』昨年度盛り上がりをもてこの活動の勢いを止めることなく、今後も「地味な地球防衛軍」はがんばります！



担当理事
辻朗子

さらに、新しい試みとして地域包括ケアシステムでの生活支援サービスの一環として『NPO法人ゆうあんどあい』のお弁当事業を応援します。



担当理事
三浦一枝

あいコープみやぎの 熊本地震・支援活動日誌

この度の「平成 28 年熊本地震」により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

あいコープみやぎは、熊本現地の支援団体「よか隊ネット※」からの要請を受け、4月19日職員2名とトラック1台が支援物資を積んで熊本へ出発し、現地での支援活動を開始しました。その後も職員を2名ずつ交代で熊本に派遣し、5月13日までに5陣10名の職員が被災者への支援活動に参加しました。

※よか隊ネット…熊本県内外のNPO法人など約30団体で組織する民間ネットワーク

【熊本地震 緊急支援募金】にご協力をお願いします

◆募金の申込み方法 受付期間：5月2回～6月5回 注文書
注文用紙に下記の申込番号と口数を記入してお申し込みください。

申込番号 **000830** 熊本支援募金 **1口200円**

申込番号 **222244** 熊本支援募金 (ポイント振替) **1口500ポイント**

(ぜひ貯まっているポイントをご活用ください。500ポイントは500円に相当します。)

皆様からお寄せいただく募金は、被災者へお届けする支援物資や支援活動等に充てさせていただきます。

熊本支援募金 中間報告

5月2回から呼びかけている『熊本支援募金』にたくさんのご協力を頂き、ありがとうございます。5月21日現在の支援金額を下記の通りご報告いたします。熊本地震被災者への支援に、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

支援募金 **984,400円**

ポイント **1,332,500円**

4/19(火)

通常配送業務終了後18時に支援物資を積みこんだバスちゃんトラックで熊本を目指し出発。



4/20(水)～4/21(木)

21日午前10時、『よか隊』本拠地に到着。開設したばかりの事務所設営をお手伝い。



1階店舗がつぶれたビル(熊本市内)



よか隊スタッフと

4/22(金)

福岡空港近くにあるグリーンコープの物流センターから米や赤ちゃん用品など食料1トンと積み、よか隊へ搬入。



グリーンコープで積み込み



事務所に運び込まれた物資

4/23(土)

熊本県知事の要請で出水南地区の避難所へ物資を搬入。同時にライフラインや物資について状況をヒアリング。また、生産者の(株)マルタ(熊本市内に事務所)にお見舞金を届けた。



生産者マルタをお見舞い訪問

4/24(日)～4/26(火)

生活クラブ・エスコープ大阪もよか隊の支援に加わる。車中避難者がどこに何台いるのかなど調査をはじめ、全体会議で活動方針を決定。NHKの取材が入り、『クローズアップ現代』で活動が紹介された。炊き出しの準備も始め、雨天時用に大型テントを3つあいコープが寄贈。



地図を作製



全体会議の様子 NHKが取材をしている

4/27(水)

カレーの炊き出しを実施。雨だったため、前日に購入したテントが役に立った。併設して医療相談、法律相談、イベント(ヨガ)、車中避難調査活動を行う。



4/28(木)～5/13(金)

主に車中避難者を対象に状況聞き取りや炊き出しを続ける。行政の目が行き届いていない現状の改善を求めて、5/9には熊本市長あてに要望書を提出した。



車中避難者の聞き取りの後の調査報告。深夜まで続く。



バスちゃんトラックは、大型テントや炊き出し道具を積みこみ、常に大活躍。



よか隊ネットの関連団体は30を超えた



車中泊する避難者(右)に避難生活で困ったことなどを質問する「ところをつなぐ『よか隊ネット』」のスタッフら=熊本市東区で2016年5月7日午後10時38分、松田栄二郎撮影

5/9、毎日新聞ニュースで車中生活を続ける避難者の生活改善を目指したよか隊ネットの活動が紹介された

熊本現地では「よか隊ネット」と寝泊りを共にし、支援物資配送や炊き出し活動、車中避難者に対する調査活動を行いました。今回の地震の特徴は、車中避難者が非常に多い事。間隔をおかず2度も発生した震度7の強い揺れによる「恐怖」が、家に居られない=車中避難者の増加を生み、エコノミー症候群など健康被害の懸念が強まっています。そしていつまでも続く余震のなか、自宅倒壊の不安があっても自治体指定の避難所に入らず公園やコンビニ、空き地などで一夜を過ごす方が多くいらっしゃいました。

私たちは、このような車中避難者に対しエコノミー症候群への注意喚起や炊き出しなどの情報提供を行いながら、聞き取り調査を行い、その情報から熊本市長に対し5月9日、「車中避難者への緊急対応及び被災者の生活再建に関する要望書」を提出しました。調査のなかで、8割以上の方が行政による対応は何もなかったとお話されていました。

駐車場や公園など炊き出しが多い場所では、車中避難されている方が日中仕事などで駐車位置を離れる際に「水タンク」や「いす」などで場所取りを行い、夕方以降には同じ場所に戻ってくる様子が見られました。

「車中泊」と「指定避難所」の避難者の間に支援物資や情報で格差が生まれています。まだまだ先の見えない状況のなか、必要な事は何なのか、今後も現地の団体から情報を得て、連携しながら支援活動に取り組んでまいります。

2016年5月18日 事業部 部長 高橋正人

報告 5/21 遺伝子組み換えイネ実験栽培公開説明会

5/21(土)、東北大学による遺伝子組み換えイネの実験栽培に関する公開説明会が東北大川渡共同セミナーセンターで開かれ、あいコープから3名が参加しました。宮城県大崎市鳴子にある野外圃場で28年度から行う実験計画(H28/4に文科省、環境省から栽培を認可された)の説明がありました。この実験は、最短でも3年間は続けられるそうです。栽培に当たっ

ては宮城県のチェックが年4回入り、細心の注意が払われることが分かりましたが、遺伝子組み換え作物栽培への疑問と不安はぬぐえるものではありません。説明会終了後、3月に開催したGMOフリーゾーン全国交流集会で決議した抗議文を栽培実験の責任者へ直接手渡し、フリーゾーンの活動やあいコープの姿勢を説明し、消費者、生産者の不安を伝えました。



遺伝子組み換えイネの実験栽培を行う圃場を見学

連載

BM全国大会に向けて あいコープ BMの人々



みやぎ BM 協会会長 西塚忠元

私がBMと出会ったのは、かれこれ20年程前のことです。飲むだけで健康になる、噴霧するだけで活力が出る。と、まるで魔法の水のようで、どんなインチキがあるのだろうと思いました。ものは試しとばかり、鶏に飲ませてみるとサカは赤く元気になり、ニオイもかなり抑えられました。理屈はどうでも結果がでたのでラッキーとプラントを設置。いろいろと試験したり、理論を勉強するのに10年かかり、要は「自然の循環」の摂理を凝縮したものだとして理解しています。現在は、鶏の飲水改善に堆肥の製造に昨日の活力剤にいろいろと使っています。今は、あいコープ関係で県内に4つのプラントがあり、よりよい生産物を目指して生産者で普及が進んでいます。



『電力自由化で何が変わるの?』

「電力小売り自由化」に高い関心



電力小売全面自由化を目前に控えた3月29日、仙台市市民活動サポートセンターにて、環境エネルギー政策研究所事業マネージャーでエネシフみやぎ代表の浦井彰さんを講師に迎え学習会を開催しました。定員50名を超える参加を頂き、この問題への関心の高さが伺われました。

浦井氏のお話から「あわてて契約変更をしなくても停電する訳ではない」「既存の送電網を利用するので新たな電線は必要ない」など一般消費者の基本的な疑問がまず解消されました。さらに送電網の仕組み上、100%再生可能エネルギーだけの電気は選べないが再生可能エネルギー比率の高い電気は選べる事、しかし各社が小売りする電気の電源構成に関する情報開示が十分ではないので消費者側からの働きかけが必要である事、そして情報収集を続け状況を見定めて選択する大切さが分かりました。

日本の再生可能エネルギー導入比率はOECD中22位。今まで消費者は選べようがなかった電気が選べるようになる事はチャンスであり、消費者の選択が社会を変え得るとの浦井氏の力強いメッセージを多くの方に伝えたいと思います。

脱原発エネシフ委員長

後藤咲子

報告 4/6

パン工房わはわ見学 宮城野地区委員会

なるべく手作業でつくるパン。 だから、美味しいんですね。



4月6日に大郷町のパン工房わはわの見学に行ってきました。施設長の櫻田さんの案内で窓越しに『ぶどうたっぷり米粉パン』を成形している所を見学。皆さん器用にコロコロと生地を丸めています。

通所している23人の方とスタッフ7名で作業を分担しており、昨年度からは、幼稚園に加え地域の小中学校の給食の依頼もあり、多いときは一日約二千食作る日もあるそうです。

一番印象に残ったお話は大きい機械を入れずなるべく手作業で作っているということでした。機械にお金をかけるより、数字に強い人は生地の分割や計量を、細かいことが得意な人はレーズンの枝除去をというようにそれぞれの個性や特技をいかして作業してもらい、お給料として還元する方が通所者の為にもパン工房の為にもなっているとのことでした。

沢山の方々の温かい手を通して出来上がったパンだからとても美味しいのかもしれませんね。

見学後に試食で頂いた作りたてのメロンパンは外はサクサク中はもちもちで本当に美味しかったです。わはわの皆さま、ありがとうございます。

宮城野地区委員

櫻井洋子



理事会議事録抄

2016年4月19日(火)
▼2016通常総代会に上程する1号〜7号の全ての議案を確認した。▼2016組合員活動の年間計画と役割分担を確認した。▼2016事業予算と各部行動計画を承認した。▼熊本地震現地からの要請に応え緊急支援活動へ向かうことを確認した。

2016年5月10日(火)
▼2016通常総代会のプログラムと役割分担を確認した。▼「ジョイケア・ケア金の改定」企画書を承認した。▼「PB食パン再開発」企画書を承認した。▼「PB」こだわりの万能つゆ開発企画書を承認した。▼「優づらんど」中間総括と今後の課題を確認した。

組織概要

(2016年4月分)

【組合員数】	12,860名
【供給高】	171,511千円
【一人実利用高】	5,106円/週
【出資金】	1,074,893千円



● あいコープの、まじめにコツコツなところが好き。

若林 吉田美穂

報告
4/20
(水)
4/22
(金)

委員オリエンテーション

同じ考え、方向を向いている仲間と
安心して活動できるあいコープ。



組合員活動の魅力を
話し合いました。

ツクヤードを知り、「自分が注文書に1と書くことで、いろいろな人々や、物が動いているんだということを実感。」「仕分けから配送の流れがわかった」と好評でした。

委員会活動の良かった点として、同じ考え、方向を向いている仲間と安心して活動できること。様々な年代の方とお話しする機会があること。また、産地見学に参加して生産者に出会って勉強が深まること等多くの意見を頂きました。委員同士共感し合いながら、「持続可能な社会をつくる」あいコープの様々な活動に対する熱い信頼が伝わる内容の濃いオリエンテーションになりました。

4月20日は仙台市民会館、4月22日はあいコープみやぎ日の出町センターの2会場で新年度の組合員活動のスタートとなる委員オリエンテーションが開催されました。
両日とも普段なかなか交流できない他地区の委員同士が集まり、「意見交換ができて良かった」「他地区の委員さんの活動の意欲的な話が聞けてとても充実した時間を持てた」「グループ発表も素晴らしかった」と感想をお寄せ頂きました。
また、日の出町センターでは、セットセンター見学が行われ、普段なかなか見られないバ



好評だった
セットセンター見学



2020年ビジョンに向けて
職員が描くこれからのあいコープ



これからは『地域と福祉』の活動を大切にしなければならないと思うので、高齢化社会と福祉事業について考えていきたいと思います。配達先でお年寄りの役に立てる事(草むしりや家の掃除など)をしたり、社会福祉法人みんなの輪での職場体験をしたり、利用者さんとの交流を深めたいです。また、配送の仕事しながら介護福祉士の資格が得られるような職場だったらいいと思います。

事業部 安達 繁樹

編集後記



ハム、ソーセージの生産者・タンポポ村とPB皮なしワインナープロジェクトチームの熱意から生まれた『もぐもぐミニワインナー』は、初回、2900個を超える注文があったそうです。皆、待つてました！という感じでしょうか。2016年度、新しく開発に取り組む商品は食パン。組合員が直接関わって、安全で安心な商品開発ができるあいコープだからこそ、『私たちの商品』として愛されるのですよね。どんな食パンが出来上がるのかな、たのしみ、楽しみ。
広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、
配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、
あいコープみやぎ理事会へお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

ジョイケア

NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「よつてがいん」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービスもあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 6/14 年金相談
相 談 員：社会保険労務士 兵藤政行氏
相 談 時 間：13:30～15:30
- 6/14 法律相談
相 談 員：弁護士 松澤陽明氏
相 談 時 間：13:30～15:30
- 6/21 ぐらしの相談
相 談 員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相 談 時 間：10:30～12:30
- 6/21 子ども相談
相 談 員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相 談 時 間：10:00～12:00
- 6/17 思春期相談
相 談 員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相 談 時 間：9:30～11:30

電話相談のお申込みは
ジョイケア事務局へ

受付専用
022
284-7277

平日 9:00～17:00

◎各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。

◎予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話します。

ジョイケア利用状況
(2016年3月分)

ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	31件
集団託児	19件
慶弔・出産	10件
電話相談窓口	3件
計	63件

組合員が個人で
利用できるサービス

- | | |
|---------|---------|
| 1 たすけあい | 4 ささえあい |
| 2 集団託児 | 5 慶弔 |
| 3 電話相談 | |



◎ ジョイケアのケア金が800円/時間 になったんだけって!!

C・Tさん

今が旬！宮城の原木椎茸見学ツアー を開催しました

宮城県の原木椎茸は震災後、原発事故の影響で出荷できない時期が続きました。生産者・行政の対策の結果、昨年3月に出荷が再開され、6月からあいコープでも取扱いを再開しました。原木椎茸が一番おいしい季節、それは桜の咲く4月。そんな原木椎茸の栽培現場を見ようと、27名が参加しました。現地では生産者の芳賀さん他、行政の方や地元の森林組合から有志の方が集まり、原木椎茸栽培についてお話を伺いました。植菌体験、収穫体験（しかも大きくて旬のもの！）を行い、お昼ご飯には椎茸料理を存分に味わいました。午後は森林組合の私有地内の山わさび収穫体験で締めくり。山の現状を知り、恵みも味わう、充実したツアーとなりました。



原木椎茸生産者
登米市 芳賀裕さん



椎茸の菌を打ち込みます



収穫体験 上手に採れるかな



採れた！大きいね



おまけに
山わさびの収穫体験
森林浴も満喫しました

登米市の味覚を知っていただくために開催した原木椎茸ツアーには、小さな子供さんまで参加し楽しんで戴いたメッセージを拝読し、スタッフ一同で喜んでいるところです。震災の被害で椎茸栽培の廃業を考えた時期もありましたが、宮城県や登米市の支援もあり頑張ってきました。その結果「あいコープみやぎ」の組合員さんと再開までの苦労談を交えて交流できた事は本当に嬉しく思っております。これからも交流企画を提案させていただきますので、よろしくお申し込み申し上げます。今後も安全で美味しい椎茸を生産して参りますので皆様是非召し上がってください。

Calendar

今後のイベント

6/22(水) GMナタネ調査報告/学習会
遺伝子組み換え食品ー20年目の警告
印鑰智哉氏講演会

場所/ エルパーク仙台 セミナーホール
時間/ 10時~12時

7/12(火) 環境学習会
香害を考える
天笠啓祐氏講演会

場所/ 日立システムズホール エッグホール
時間/ 10時~12時

委員会の予定

6/17(金) しおさい地区委員会
オープン定例会

場所/ 十符の里プラザ 料理実習室
時間/ 9時~13時

6/28(火) 石けん環境委員会
オープン定例会

場所/ あいコープ日の出町センター
時間/ 10時~12時

7/1(金) 泉B地区委員会 アーダブレーン
スキンケア講座

場所/ 桂市民センター 調理室
時間/ 10時~12時

地区委員さん募集中！ 一定例会見学も受付中ー

地区委員会は

楽しい！
おいしい！
学べる！！

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop

(担当：組織運営室長 豊嶋)

